

さのびとくび 名刀のいろは

令和八年九月五日(土)～十月十八日(日)

・「名刀のいろは」展は、佐野美術館と徳川美術館（会期：二〇二七年四月十七日(土)～六月十三日(日)）の2会場で開催します。
・作品番号は、本展図録及び会場内の番号と一致しますが、展示順序とは一致しません。
・都合により展示作品、展示期間が変更になる場合があります。
・展示作品は各会場で異なります。作品ごとの展示会場を左記リストに記しました。
・会期中、一部の刀剣の太刀表・太刀裏を入れ替えます。（前期：九月五日(土)～三十日(水) 後期：十月二日(金)～十八日(日)）
入れ替えを行う作品は、左記リストに記しました。

展示番号	指定	名称	時代	世紀・年号	員数	伝来	所蔵者	佐野 徳川 入替
第1章 日本刀の美くかたちく								
日本刀の源流								
1		直刀	古墳時代	五～六世紀	一口		個人	○ ○
2		蔵手刀	奈良時代	八世紀	一口		個人	○ ○
3		太刀 無銘	平安時代	十一世紀	一口		個人	○ ○
日本刀の成立(平安時代末期～鎌倉時代初期の日本刀)								
4		太刀 銘 安綱	平安時代	十二世紀	一口	大道寺家伝来	静岡 佐野美術館	○
5		太刀 銘 豊後國行平作	平安～鎌倉時代	十二～十三世紀	一口	上杉家伝来	静岡 佐野美術館	○ ○
6		太刀 銘 (菊紋)	鎌倉時代	十三世紀	一口	徳川忠長(二代將軍徳川秀忠三男)・徳川義直(尾張家初代)ほか所持	愛知 徳川美術館	○
日本刀の黄金期(鎌倉時代の日本刀)								
7		太刀 銘 來孫太郎作 (花押)	鎌倉時代	正応五年(一二九二)	一口	徳川家康・徳川義直(尾張家初代)所持	愛知 徳川美術館	○ ○
8		太刀 銘 來國光	鎌倉時代	十四世紀	一口	徳川家光(三代將軍)・徳川義直(尾張家初代)所持	愛知 徳川美術館	○ ○
形の大変革(南北朝～江戸時代の日本刀)								
9		刀 銘 本作長義 長尾新五郎平朝臣顯長所持 参府之時從屋形様被下置也	南北朝時代	十四世紀	一口	北条氏直・長尾顯長・徳川綱誠(尾張家三代)所持	愛知 徳川美術館	○ ○
10		刀 銘 備前國住長船与三左衛門尉祐定 天文二年二月吉日	室町時代	天文四年(一五三五)	一口		静岡 佐野美術館	○ ○
11	重要美術品	刀 銘 相模守政常入道	江戸時代	十七世紀	一口	徳川義直・尾張家十六代所持 徳川將軍家伝来	愛知 徳川美術館	○ ○
12		刀 銘 正清	江戸時代	十八世紀	一口		静岡 佐野美術館	○
短刀の形の変化								
13 ①		短刀(1号経塚57)	平安時代	十二世紀	一口		静岡県埋蔵文化財センター	○
13 ②		短刀(2号経塚178)	平安時代	十二世紀	一口		静岡県埋蔵文化財センター	○
13 ③		短刀(1号経塚65)	平安時代	十二世紀	一口		静岡県埋蔵文化財センター	○

展示番号	指定	名称	時代	世紀・年号	員数	伝来	所蔵者	佐野 徳川
13 ④		短刀（1号経塚81）	平安時代	十二世紀	一口		静岡県埋蔵文化財センター	○
14		短刀 銘 宗近	鎌倉時代	十三〜十四世紀	一口	徳川家康所持	愛知 徳川美術館	○
15	国宝	短刀 銘 吉光 （名物 後藤藤四郎）	鎌倉時代	十三世紀	一口	後藤庄三郎・土井利勝・徳川家光（三代將軍）・徳川光友・尾張家二代・綱誠（同家三代）・徳川綱吉（五代將軍）所持	愛知 徳川美術館	○
16		短刀 銘 来國俊	鎌倉時代	十三世紀	一口		個人	○
17	重要美術品	脇指 銘 相模國住人廣光 康安二年十月日 （号 火車切）	南北朝時代	康安二年（一二六二）	一口	上杉家伝来 大谷功氏寄贈	静岡 佐野美術館	○
18		脇指 銘 村正	室町時代	十六世紀	一口		個人	○
「ひといき」 変わった形								
19	国宝	短刀 無銘 正宗 （名物 庖丁正宗）	鎌倉時代	十四世紀	一口	徳川家康・徳川義直（尾張家初代）所持	愛知 徳川美術館	○
20		薙刀直し太刀 銘 備前國長船住長義	南北朝時代	十四世紀	一口		個人	○
21		短刀 銘 助宗 （号 おそらく）	室町時代	十六世紀	一口	伝武田信玄・本阿弥光甫・片桐孝利所持 片桐家伝来	個人	○
第2章 日本刀の美く地鉄・刃文く								
備前								
22	国宝	太刀 銘 正恒	平安時代	十二世紀	一口	徳川吉宗（八代將軍）・徳川宗睦（尾張家九代）所持	愛知 徳川美術館	○
山城								
23	重要美術品	短刀 銘 吉光 （名物 庖丁藤四郎）	鎌倉時代	十三世紀	一口	徳川家康・徳川義直（尾張家初代）所持	愛知 徳川美術館	○
相模								
24	重要文化財	刀 金象嵌銘 正宗磨上 本阿弥（花押） （名物 池田正宗）	鎌倉時代	十四世紀	一口	伊達政宗・池田長吉・長幸・徳川秀忠（二代將軍）・家光（三代將軍）・徳川義直（尾張家初代）所持	愛知 徳川美術館	○
25	重要文化財	刀 無銘 正宗	鎌倉時代	十四世紀	一口	藤堂家・徳川將軍家伝来	静岡 佐野美術館	○
越中								
26		小脇指 銘 則重	鎌倉時代	十三〜十四世紀	一口	輒院院好君（尾張家九代宗睦正室）所持	愛知 徳川美術館	○
27	重要文化財	刀 朱銘 義弘 本阿弥（花押） （名物 松井江）	鎌倉時代	十四世紀	一口	松井家・徳川將軍家・紀伊家伝来	静岡 佐野美術館	○
28	重要文化財	刀 無銘 郷義弘 （名物 五月雨郷）	鎌倉く 南北朝時代	十四世紀	一口	黒田長政・徳川秀忠（二代將軍）・前田利常（加賀前田家三代）・徳川家光（三代將軍）・徳川光友・尾張家二代・綱誠（同家三代）・徳川綱吉（五代將軍）所持 徳川將軍家伝来	愛知 徳川美術館	○
29		太刀 銘 月山作	鎌倉時代	十三世紀	一口		個人	○
出羽								

展示番号	指定	名称	時代	世紀・年号	員数	伝来	所蔵者	佐野 徳川	入替
薩摩									
30	重要文化財	太刀 銘 波平家安	鎌倉時代	十四世紀	一口		個人	○	○
[ひといき] 素材の探究									
31		刀 銘 (葵紋) 於武州江戸越前康継 以圓蠻鐵	桃山・江戸時代	十六・十七世紀	一口		個人	○	○
32		南蛮鉄 (瓢箪形)			一箇		東京・刀剣博物館	○	○
33		短刀 銘 以餅鐵山内國多作 元治二年二月日	江戸時代	元治二年(一八六五)	一口		岩手県立博物館	○	
34		餅鉄			一箇		岩手県立博物館	○	
35		太刀 銘 濃州関住人奈良太郎藤原兼永 耐錆鋼以作之 (葵紋) 献上 名古屋市ヨリ皇太子殿下高砂御太刀寫 昭和九年二月吉日彫刻同作	昭和時代	昭和九年(一九三四)	一口		愛知 徳川美術館	○	○
36		産地別地鉄資料 成木一成作	平成時代	二十一世紀	十口		愛知 熱田神宮	○	
37		刀 銘 奉納熱田神宮大前皇紀式千六百七拾四年八月朔日 倣一 周防國杉田善昭作之 平成二十四年三月日筑州住光 代銘	平成時代	平成二十四年(二〇二二)	一口		愛知・熱田神宮		○
38		短刀 銘 小左衛門行平 平成二十二年仲夏 (号 青澄一号)	平成時代	平成二十四年(二〇二二)	一口		静岡・佐野美術館	○	
39		短刀 銘 以南アフリカ砂鉄 甲斐國重光作 平成二十二年辰年夏	平成時代	平成二十四年(二〇二二)	一口		個人	○	
40		南アフリカ産砂鉄・鋨			一具		個人	○	
41		脇指 銘 以比律賓砂鉄 甲斐國重光作 平成二十六年甲午年春	平成時代	平成二十六年(二〇二四)	一口		個人	○	
42		フィリピン産砂鉄・鋨			一具		個人	○	
43 ①		短刀 銘 二十五代二十六代兼房 天鉄刀Ⅱ空宙博	現代	令和二年(二〇二〇)	一口		岐阜かかみがはら 航空宇宙博物館	○	○
43 ②		剣 銘 二十五代二十六代兼房 天鉄刀Ⅲ空宙博	現代	令和二年(二〇二〇)	一口		岐阜かかみがはら 航空宇宙博物館	○	○
44		鉄隕石			一箇	ナミビア産	岐阜かかみがはら 航空宇宙博物館	○	○
45	[ひといき] 研究	小脇指 銘 安吉	南北朝時代	十四世紀	一口	徳川綱吉(五代將軍)・徳川綱誠(尾張家三代)所持	愛知・徳川美術館	○	○

展示番号	指定	名称	時代	世紀・年号	員数	伝来	所蔵者	佐野 徳川	入替
46		脇指 銘 安吉	南北朝時代	十四世紀	一口		静岡・佐野美術館	○	○
47		研磨工程見本（資料…刀 銘 相州住綱廣）	（室町）江戸時代	十六～十七世紀	一口		静岡・佐野美術館	○	○
第3章 日本刀と武士									
戦									
48		三角身鎧 銘 相州住助廣 金象嵌銘 延宝七己未年 孝孫忠宴敬志 慶長十九甲寅歲仲冬終六撰 劬大坂之役 顯祖 憲忠公所持之鎧也	室町時代	十五～十六世紀	一口	梅津憲忠所持 小川潤三氏寄贈	愛知・徳川美術館	○	
49		刀 銘 左文字 吉見正頼研上之 永禄九年八月吉日 （名物 吉見左文字）	南北朝時代	十四世紀	一口	吉見正頼・徳川家康・徳川義直（尾張家初代）所持	愛知・徳川美術館	○	○
50		短刀 銘 國光	鎌倉時代	十三世紀	一口	細川護立所持	静岡・佐野美術館	○	
51		刀 無銘 正宗 （名物 石田正宗）	鎌倉時代	十四世紀	一口	毛利若狭守・宇喜多秀家・石田三成・結城秀康所持 津山松平家伝来	東京国立博物館	○	
52		脇指 銘 信國	室町時代	十四～十五世紀	一口	武田信玄・勝頼・徳川秀忠（二代將軍）・土屋忠直所持	矢部コレクション	○	
53		太刀 銘 長光 （名物 津田遠江長光）	鎌倉時代	十三世紀	一口	織田信長・明智光秀・津田重久・前田利長（加賀前田家二代）・綱紀（同家五代）・徳川綱吉（五代將軍）・家宣（六代將軍）・徳川吉通（尾張家四代）所持	愛知・徳川美術館	○	○
平和な時代にも									
54		大太刀 銘 信國	室町時代	十四～十五世紀	一口	伝徳川光友・尾張家二代所持	愛知・徳川美術館	○	
55		脇指 銘 伊藤肥後守泰光代 重胴二 以其齒タウリ 柳生氏利延所持之	江戸時代	十七世紀	一口	柳生利延・徳川吉通（尾張家四代）・慶勝（同家十四代）所持	愛知・徳川美術館	○	
56		刀 銘 和泉守藤原兼定 石破瀧谷木工頭明秀 伊勢山田是作 永正十二年□ 金象嵌銘 二胴切落	室町時代	永正十四年（二五一七）	一口		静岡・佐野美術館	○	○
57		脇指 銘 虎徹興里作 寛文五年三月吉日	江戸時代	寛文五年（一六六五）	一口	徳川綱誠・尾張家三代所持	愛知・徳川美術館	○	
天下人のコレクション									
58		太刀 銘 光忠	鎌倉時代	十三世紀	一口	徳川綱吉（五代將軍）・徳川綱誠（尾張家二代）所持	愛知・徳川美術館	○	○
59		刀 金象嵌銘 備前國兼光 本阿弥（花押） （名物 大兼光）	南北朝時代	十四世紀	一口	豊臣秀吉・藤堂高虎所持 徳川將軍家伝来	静岡・佐野美術館	○	
60		刀 銘 兼元	室町時代	十六世紀	一口		東京・刀剣博物館	○	
61		太刀 銘 長光	鎌倉時代	十四世紀	一口	伝豊臣秀吉・竹中半兵衛所持 竹中家伝来	個人	○	

展示番号	指 定	名 称	時 代	世 紀 年 号	員 数	伝 来	所 蔵 者	佐 野 徳 川	入 替
62	重要文化財	刀 無銘 一文字 (名物 南泉一文字)	鎌倉時代	十三世紀	一口	伝足利將軍家・豊臣秀吉・秀頼・徳川家康・徳川義直(尾張家初代)所持	愛知・徳川美術館	○	
63	重要美術品	太刀 銘 國俊 (名物 鳥養 国俊)	鎌倉時代	十三世紀	一口	鳥養宗慶・与兵衛・細川藤孝・忠興・石田三成・富田信高・徳川家康・徳川義直(尾張家初代)所持	愛知・徳川美術館	○	○
64	重要美術品	刀 銘 駿州住重國造之 金象嵌銘 一夜業風起 吹倒二佛堂	江戸時代	十七世紀	一口	個人	個人	○	
祝儀の日本刀									
65		刀 無銘 貞宗	鎌倉時代	十四世紀	一口	徳川綱吉(五代將軍)・柳沢吉里・徳川家宣(六代將軍)・家継(七代將軍)・慶喜(十五代將軍)所持 徳川將軍家伝来	静岡・佐野美術館	○	
66		短刀 銘 國吉	鎌倉時代	十三世紀	一口	藤堂高陸・徳川家千代(六代將軍家宣嫡子)所持 徳川將軍家伝来 細谷政秀氏寄贈	静岡・佐野美術館	○	
67		小脇指 銘 来國次	南北朝時代	十四世紀	一口	徳川家綱(四代將軍)・徳川綱誠(尾張家三代)所持	愛知・徳川美術館	○	
68		刀 金象嵌銘 一文字 本阿(花押)	鎌倉時代	十三世紀	一口	徳川家重(九代將軍)・家治(十代將軍)・家基(家治嫡子)所持 徳川將軍家伝来	静岡・佐野美術館	○	
69	重要文化財	太刀 銘 来國俊 正和二年十月廿三日□□歳七十五	鎌倉時代	正和四年(一二一五)	一口	徳川家重(九代將軍)・徳川宗勝(尾張家八代)所持	愛知・徳川美術館	○	
70	重要文化財	刀 無銘 伝来 国光	鎌倉時代	十四世紀	一口	徳川綱吉(五代將軍)・柳沢吉保所持 大和郡山柳沢家伝来	広島・ふくやま美術館 (小松安弘コレクション)	○	
武家伝来の重宝									
71	国宝	太刀 銘 一 (号 長篠一文字)	鎌倉時代	十三世紀	一口	織田信長・奥平信昌所持	矢部コレクション	○	○
72	静岡県指定文化財	大笹穂鎧 銘 藤原正真作 (号 蜻蛉切)	室町時代	十六世紀	一口	本多忠勝所持 本多家伝来	矢部コレクション	○	
73	重要文化財	脇指 無銘 貞宗 (名物 物吉貞宗)	南北朝時代	十四世紀	一口	豊臣秀吉・徳川家康・徳川義直(尾張家初代)所持	愛知・徳川美術館	○	○
74	重要文化財	太刀 銘 真守造	平安・鎌倉時代	十二・十三世紀	一口	伝源義光・武田信玄・勝頼・信吉・徳川頼房 水戸家初代・松平頼重(高松松平家初代)所持	高松松平家歴史資料 (香川県立ミュージアム保管)	○	
75	国宝	薙刀 銘 備前國長船住人長光造	鎌倉時代	十三世紀	一口	津山松平家伝来 佐藤寛治氏寄贈	静岡・佐野美術館	○	
[ひとこぎ] 装 っ									
76		男女装束着図	江戸時代	寛政五年(一七九三)	一帖		愛知・徳川美術館	○	
77		葵紋散螺鈿黄金造飾太刀拵	江戸時代	十七世紀	一腰	徳川義直(尾張家初代)所持	愛知・徳川美術館	○	
78		徳川義直像(模本)(原本 愛知・清浄寺蔵)	昭和時代	昭和十二年(一九三七)	一幅	桜井清香模写	愛知・徳川美術館	○	
79		獅子文螺鈿細太刀拵	江戸・明治時代	十九・二十世紀	一腰	鷹司家伝来	静岡・佐野美術館	○	
80		濃紺地透精好直垂	明治時代	明治元年(一八六八)	一領	徳川慶勝(尾張家十四代)着用	愛知・徳川美術館	○	○

展示番号	指定	名称	時代	世紀・年号	員数	伝来	所蔵者	佐野 徳川	入替
81		浅葱地葵紋付菱形小紋長袴	江戸時代	十九世紀	一領	徳川慶勝・尾張家十四代・着用	愛知・徳川美術館	○	
82		葵紋・時給糸巻太刀拵	江戸時代	十七世紀	一腰	愛知・徳川美術館	○	○	
83		蠟色塗小サ刀拵	江戸時代	安政四年（一八五七）	一腰	徳川慶勝・尾張家十四代・所持	愛知・徳川美術館	○	○
84		浅葱地葵紋付菱形小紋袴	江戸時代	十九世紀	一領	徳川慶勝・尾張家十四代・着用	愛知・徳川美術館	○	○
85		蠟色塗大小拵	江戸時代	十九世紀	一腰 （一对）	徳川慶勝・尾張家十四代・茂徳（同家十五代）所持	愛知・徳川美術館	○	○
86		紫紺地葵紋付羽織・袴	江戸時代	十九世紀	一領	徳川慶勝・尾張家十四代・着用	愛知・徳川美術館	○	○
87		石首魚石入 蠟色塗大小拵	江戸時代	（刀拵）安政四年（一八五七） （脇指拵）嘉永七年（一八五四）	一腰 （一对）	徳川慶勝・尾張家十四代・所持	愛知・徳川美術館	○	
〔ひととき〕 名物									
88		唐物茶壺 銘 判官 大名物	中国元〜明時代	十四〜十五世紀	一口	千利休・池田長幸・徳川家康・徳川義直・尾張家初代・所持	愛知・徳川美術館	○	○
89		短刀 銘 行光 （名物 不動行光）	鎌倉時代	十三世紀	一口	小笠原家伝来	個人	○	
90		短刀 無銘 正宗 （名物 小松正宗）	鎌倉時代	十四世紀	一口	前田利常（加賀前田家三代）・光高（同家四代）・綱紀（同家五代）所持	静岡・佐野美術館	○	○
91	重要文化財	短刀 銘 正宗 （名物 不動正宗）	鎌倉時代	十四世紀	一口	豊臣秀次・徳川家康・前田利家（加賀前田家初代）・利長（同家二代）・利常（同家三代）・徳川義直・尾張家初代・所持	愛知・徳川美術館	○	○
〔ひととき〕 鑑定									
92		古筆手鑑「蓬左」	奈良〜江戸時代	八〜十七世紀	一帖		愛知・徳川美術館	○	○
93		刀 無銘 兼光 附 折紙 元和七年六月三日 本阿弥光室	南北朝時代	十四世紀	一口	徳川宗勝・尾張家八代・所持	愛知・徳川美術館	○	
94		野沓図二所物（簀）無銘 宗乗（目貫）無銘 休乗 附 折紙（簀）寛永四年八月七日 後藤顕乗	室町時代	十五〜十六世紀	一具		愛知・徳川美術館	○	
95		俱利伽羅龍三所物（後藤家十四代揃金具のうち） （小柄・簀）銘 紋 祐乗 光美（花押）（目貫）無銘 附 折紙 文政三年十一月七日 後藤光美 波に應龍文・時絵箱	室町時代	十五〜十六世紀	一具	稲垣家伝来	静岡・佐野美術館	○	